

第124回運営委員会概要 2月15日(金) 18:30~20:50

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 2F研修室
- ◆出席委員：新野・石坂・川口・佐藤(正)・三宮・高橋(武)・武本(和)・前田運営委員
(欠席：竹内・徳永委員)・・・8名
- ◆オブザーバー：新潟県/熊倉原子力安全広報監
柏崎市/駒野課長 野澤主任
刈羽村/山崎主任
- ◆事務局：広報センター/須田業務執行理事 石黒主事

委員改選について

〈事務局〉 新年度に向けた委員改選について、そろそろ推薦団体へ伺いをたてる時期にきているので具体的な方向性を示していただきたい。

〈議長〉 運営委員のフリーディスカッションの場に出された意見の中には、委員の定数を減らして20名くらいにしてはどうか、UPZ(防災対策を重点的に実施する緊急防護措置区域)が30kmと広域になったことをイメージしながら、柏崎と刈羽のバランスをとった公平性の中で、それに見合う推薦団体を選出してはどうか、との意見があった。

この会を発足したときの経緯では、当時の認識の中でバランスをとった中から選出していただいた団体数と聞いている。

まず、選出された団体のバランスをそのまま続けるのかどうかという協議。

次に、議論を深めるには20名くらいに絞るという意見があったが、その方向性で考えた場合に20名は妥当であるかという協議。

会の、中立公平で多くの住民の意思を反映させるという趣旨からすれば、20名にすることでどんなマイナス面があるのか、それをどう改善するのかということ視野に入れながら議論をしていただきたい。

また、新年度(第6期)が始まる5月1日までに、きっちり決めてしまうのか、もう少し緩やかに段階を踏んで改善を図るほうがいいのかということも考えていただきたい。

〈委員〉 そもそも最初の団体の選び方というのはどうだったのか。

〈議長〉 ざっくりとしたイメージでは、発電所の近くの町内会の方たち、延長線上の地域を網羅するコミュニティ、西山地域、刈羽はバランスよく入っていて、あとは柏崎市のエネルギーに関する活動団体の方たちというような構成。

〈議長〉 現在、25名とはいいながら、実際には会議に参加されていない方もいる。団体から推薦された方が、個人的な理由で参加されないのか、団体の意思として参加しないのか。その団体が「地域の会」をどういうふうにつけて参加しないのかということまで考えなければいけないのではないのか。

しかし、参加協力しないからという理由で、その団体を排除していくことはできない。地域の会が理解されていないのであれば、反省し理解していただくよう努めていかなければならないと思う。

〈委員〉 でも、議論を深めるために人数を絞るということは、現実には、

「減らす」ことになる。減らすとなれば、どうしても出席が少ない団体に目がいく。

実際に減らしてみてもうなのかということを実体的にやっていくしかない。

〈委員〉 柏崎市としては、運営委員のフリーディスカッションの議論を受けて、何か具体的に考えたのか。

〈柏崎市〉 推薦団体を外すということはなかなかできない。会議の参加が少ない団体には、事情を説明した上で、次期については「お休み（空席）」いただく形にしてもいいと考えている。

あとは地域のバランスを考えれば、参加団体が多い地域は減らすことを考えてもいいのではないか。

〈議長〉 人口バランスの観点から、参加団体数を決めることも考え方のひとつと思うがどうか。

〈委員〉 人口比から見ると、刈羽から1名、西山から2名減らしてもいいのではないか。

〈議長〉 刈羽村は、重要な別自治体であるのだから単純に人口比とするわけにはいかないだろう。

〈柏崎市〉 地域全体のバランスをみながら、全体的に人数を減らす方向で、該当団体に説明をしつつ確認していきたい。

〈刈羽村〉 5名を4名にすることはできると思う。地域のバランスをみながら確認をしたい。

（委員了解）

〈議長〉 柏崎市が広域になったことを視野に入れ、高柳や北条地域など、遠方からの参加を増やすことを検討してはとの意見もあったが、それはどうか。

〈委員〉 発電所から近い地域の団体を減らし、遠い地域の団体が参加するというのも難しいのではないか。発電所に近い地域の人ほど関心も高いと思う。

〈委員〉 今回は、議論を深めていくために人数を減らすという方向性を共通認識として確認するだけでいいのではないか。

（委員賛成）

〈柏崎市〉 推薦団体の数を減らすということではなく、会議への出席が少ない団体に対して、次期は「お休み（空席）」という対応にできることを説明し、理解を求めていきたい。

（委員了解）

〈事務局〉 一般委員への周知はどうするか。

〈議長〉 委員の定数については以前から議論があった。今回話し合った内容については、「運営委員会の提案」として、3月の定例会時に説明したい。

（委員了解）

委員の所属団体明記について

〈議長〉 以前は、「地域の会」のホームページには、委員名に、所属する推薦団体が明記されていたが、個人情報の保護ということで、発会后、数年で委員名と推薦団体がリンクしない記載方法に変わった。

しかし、委員の発言は、どのような背景がある人がどのように発言しているかというのが重要だと思える。推薦団体を入れないでほしいという委員はいないのではないかと思われるがどうか。

〈委員〉 簡単に推進派、反対派と分けるのは難しいことを思えば、推薦団体を明記するほうがよほど市民にはわかりやすいと思う。

〈委員〉 「運営委員会の提案」として、次回定例会で会長から話をして了解をもらえばいいのではないか。

(委員賛成)

(議長了解)

副会長選出及び会則について

〈議長〉 現在、会長、副会長を各一人選出しているが、今後の会の運営のことを考慮し、副会長を二人にしてはどうか。会則も含め問題はないだろうか。

〈委員〉 副会長は二人でもよい。会則 8 条に（会長及び副会長）について記載があるが、人数は明記されていない。会則変更の必要もないのではないか。

(委員賛成)

新年度の活動計画について

〈事務局〉 平成 25 年の 5 月 1 日から第 6 期が始まる。10 周年ということで、来期は 10 周年活動記録の作成、勉強会、視察の予定を聞いている。勉強会などは場所の確保等のこともあり、少しでも早めに日程の目途をつけていただけるよう協議をお願いしたい。

また、活動記録の作成については、委員さんの中から編集委員を選出していただき、発行予定時期の目標などを決めていただきたい。

〈議長〉 活動記録に関しては、一般委員さんからも参加していただいてはどうか。

(委員賛成)

〈事務局〉 3 月の定例会で、編集委員を募る旨、会長から話を出していただきたい。

(会長了承)

〈事務局〉 発行時期については、印刷会社とも相談しながらだが、8 月、9 月頃を目標に考えてみてはどうか。

(委員賛成)

- 〈事務局〉 委員の勉強会、視察についても考えていただきたい。
- 〈委員〉 新しく委員になった方たちに慣れていただくために、勉強会を兼ねて、まずは柏崎刈羽の発電所視察を行ってはどうか。
- (委員賛成)
- 〈委員〉 県外視察の行き先について、福島第一原子力発電所の状況を見ることができるのだろうか。
- 〈議長〉 東京電力に確認しないとわからない。日程も東京電力と調整しながら、5、6、7月頃の中で調整したい。10周年の勉強会については、10月以降として、内容や開催場所など次回以降も協議を重ねていきたいと思うがどうか。
- (委員了解)

次回定例会内容について(3月)

【決定事項】

〈3月定例会タイムスケジュール(案)〉

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 18:30～19:15 | 前回以降の動き
(東京電力、規制庁、エネ庁、行政) |
| 19:15～19:30 | 質疑応答 |
| 19:30～19:50 | 新安全基準の骨子案について(規制庁) |
| 19:50～20:15 | 質疑応答 |
| 20:15～21:15 | 原子力防災訓練の概要(県)、質疑応答、その他 |

** 運営委員会提案 **

- ・委員の定数を削減する(25名を約20名)
(委員間の議論を深めるため)
- ・HPに掲載している委員名と所属団体をリンクさせる
(リンクさせるほうが有効ではないかとして)

以上を定例会に報告、了承を求める。

視点59号内容について(第115回定例会分)

- 〈事務局〉 次号第59号は1月の定例会と2月の情報共有会議が掲載される。「委員の意見発表」は1月、2月ともに行っていることから、誌面構成は2ヶ月分をまとめ、情報共有会議のオブザーバーの挨拶を含めてレイアウトしたいと考えているがどうか。
- (委員賛成)

次回以降日程について

第117回定例会	3月 6日 (水)	18:30～	
第125回運営委員会	3月19日 (火)	18:30～	
第118回定例会	4月10日 (水)	※第二水曜日	18:30～
第119回定例会	5月 8日 (水)	※第二水曜日	18:30～